

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報

## 現在の流行状況

### 手足口病とヘルパンギーナに注意しましょう！

熊本市における第28週(7月6日～7月12日)の定点医療機関あたりの手足口病患者報告数は、9.25人(定点数16ヶ所、患者報告数148人)で、3週連続で警報基準値(定点医療機関あたり5.00人)を超えています。

また、ヘルパンギーナの報告数は、2.31人(定点数16ヶ所、患者報告数37人)で、増加傾向にあります。

どちらもウイルスが原因の感染症で、夏場に流行することが多いです。予防対策をしっかりと行いましょう。

#### 【手足口病の特徴】

手足口病は、5歳までの子ども、特に2歳以下の乳幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症で、口の中、手のひら、足の裏や足の甲などに2～3mmの水疱性の発疹が出ます。

#### 【ヘルパンギーナの特徴】

ヘルパンギーナは、主に乳幼児がかかり、突然高熱がでて、口の中に水疱や発赤が出現し痛みを伴います。口の中の痛みなどから、食事や水分を十分にとれず、脱水になることもあります。合併症として、まれに髄膜炎や心筋炎が起こることがあります。食事が取れない、頭痛や嘔吐、発熱が続く場合は早めに医療機関を受診するようにしましょう。

#### 【感染予防のポイント】

ウイルスは、患者の鼻水や唾液、便などに存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排出されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。外出後、食事の前やトイレの後は、流水と石鹸で十分に手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。

期 間		平成27年 第27週		平成27年 第28週	
		6/29～7/5		7/6～7/12	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症		0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)		4	0.25	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		29	1.81	20	1.25
感染性胃腸炎		68	4.25	70	4.38
水痘(みずぼうそう)		3	0.19	6	0.38
手足口病		147	9.19	148	9.25
伝染性紅斑(りんご病)		8	0.50	4	0.25
突発性発しん		12	0.75	20	1.25
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		24	1.50	37	2.31
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		3	0.19	3	0.19
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		30	6.00	19	3.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	2	0.40
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00